

学校生活のきまり

ここに述べられている事からは、誰もが気持ちよく学校生活を送るための具体的なきまりです。若水中学校の生徒としての自覚をもって行動しましょう。

【服装・頭髪について】

- (1) ブレザー制服を着用する。
- (2) 衣替えの期間を設けないので、各自が気候・体調に合わせて、夏服・冬服を着用する。ただし始・終業式など改まった行事の日は全員が統一した冬（夏）服を着用する。

(3) 肌着について

夏…白、ベージュなどの透けない色で無地のものを着用する。ただし、ワンポイントやロゴ程度は可。ただし背面プリントは不可とする。

冬…黒、紺、グレー、白などの地味な色で無地のものを着用する。ただし、ワンポイントやロゴ程度は可。ただし背面プリント、ハイネックは不可とする。

(4) 中間着について

肌寒いときに中間着として、カーディガン、Vネックセーター、ベストを着用可。色は、黒、紺、グレー、ベージュ、白などの地味な色。

＜中間着 着用時の注意点＞

- ・タグなどに、必ず記名する。
- ・名札はきちんと付ける。（カーディガンを脱ぐ場合は名札を夏服・冬服に付け替える）
- ・身体に合ったサイズを着用する。
- ・腰に巻かない、肩にかけない。
- ・手指はきちんと出す。
- ・ボタンはきちんととめる。

(5) 防寒具について

＜防寒具の扱い＞

時期を見て、家庭向け案内を出します。使用は登下校のみ。ただし、職員室の入室時、朝教室に入った後、帰りの会のときなどは、コートは脱ぐこと。コート着用生徒は教室で保管するためハンガーを持参すること。

①マフラー、ネックウォーマー、手袋

→色や生地は不問。極端に長いものは避ける。

②コート

→Pコート、トッパコート、ダッフルコートなど着用。フード付きコートも可。色は、黒、紺、グレー、ベージュなどの地味な色。ダウンやベンチコート等も可。

③セーター、トレーナー

→黒、紺、グレー、白などの地味な色で無地のものを着用する。ただし、ワンポイントやロゴ程度は可。ただし背面プリントは不可とする。

④タイツ

→色は黒かベージュを着用可。その際に靴下を履いてもよい。

⑤カイロ

→ゴミは各自で持ち帰ること。適切な扱いをすること。

⑥その他

耳当て等は体調に合わせて申し出て許可を受ける。

(6) 名札は登校したら所定の位置に付ける。

(7) 通学靴は白を基調とした走る運動に適したひもつきかマジックテープの靴を原則とする。厚底やハイカットは不可。靴下は、白、黒、紺、グレー。くるぶしソックス可。

※靴下に関しては、色の基調が合っていればOKとする。

(8) 上ばき、体育館シューズは、学校で指定したものを使用する。（上ばきは学年色）

(9) 頭髪は男女ともに清潔感のある髪型に整える。

- ・ 前髪が目にかからないようにする。状況によって前髪が目にかかってしまう場合は、黒、紺などのヘアピンを使用してもよい。髪の長さは、肩につく場合は黒、紺などの派手でないゴムバンドでまとめる。
- ・ 特殊な髪型、染髪、脱色、パーマ等の学校生活にふさわしくない髪は不可。

(10) 体育時の服装については4月の授業で指示を受ける。

(11) その他

熱中症対策…登下校中に帽子（キャップ、ハット）を着用して登下校することは可。

膝かけ、座布団…体調に合わせて申し出により許可する。

生徒手帳 P16～P19…ブレザー新制服着こなしガイド

①冬 服

○ブレザー（右前・左前のボタンは適宜付け替える）

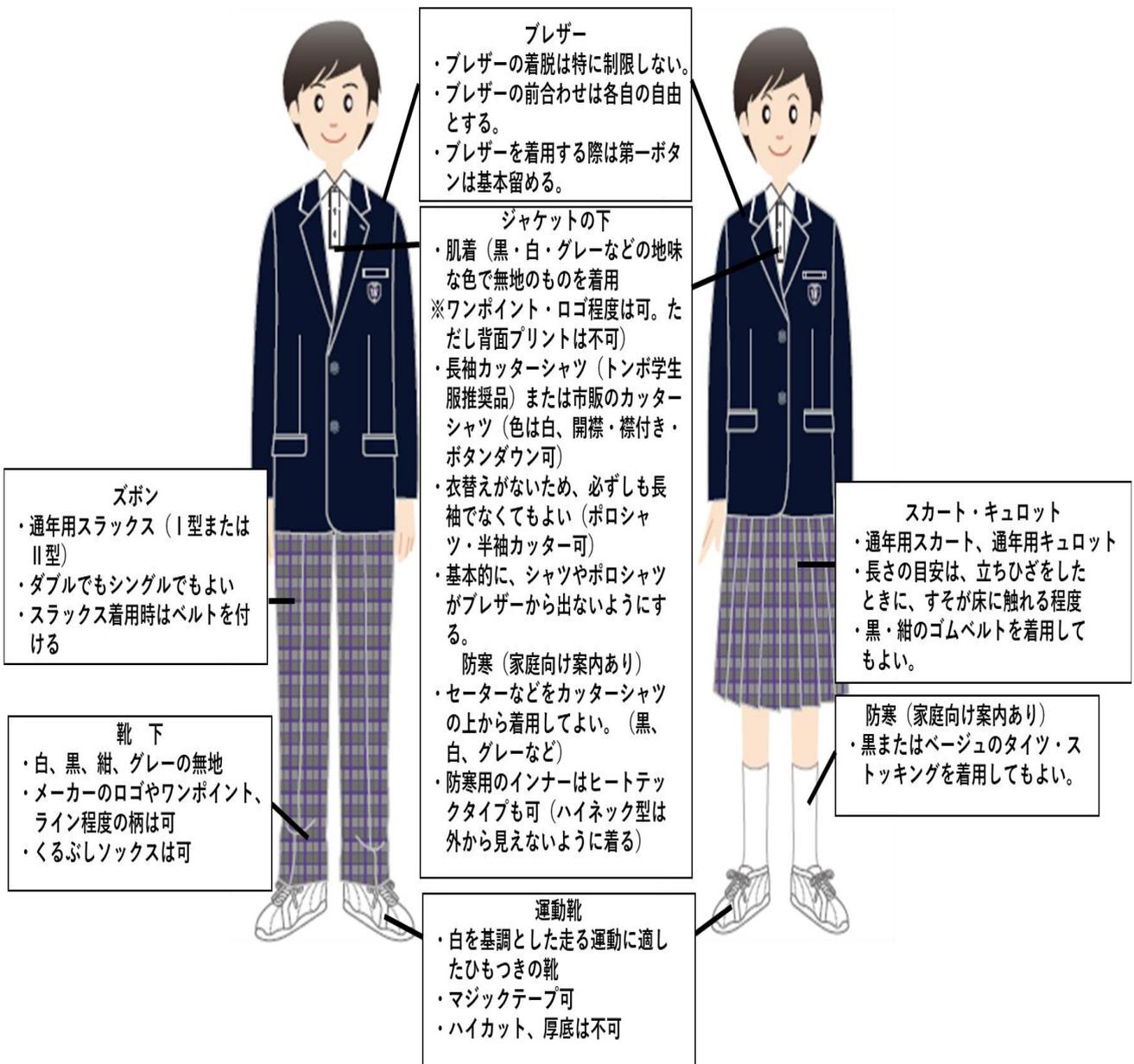
○長袖カッターシャツ（色は白、開襟・襟付き・ボタンダウン可）を着用する。

○通年用のスラックス（スラックスⅠ型・Ⅱ型）、通年用スカート、通年用キュロットのいずれかを選択する。

○ベルト（黒を基調とした派手でないもの。スラックス着用時に付ける）

○スカート、キュロットで丈調整のために、ゴムベルト（黒、紺）着用可

※始・終業式など改まった行事の日は、ブレザーとスラックス、スカート、キュロットのいずれかを着用する。



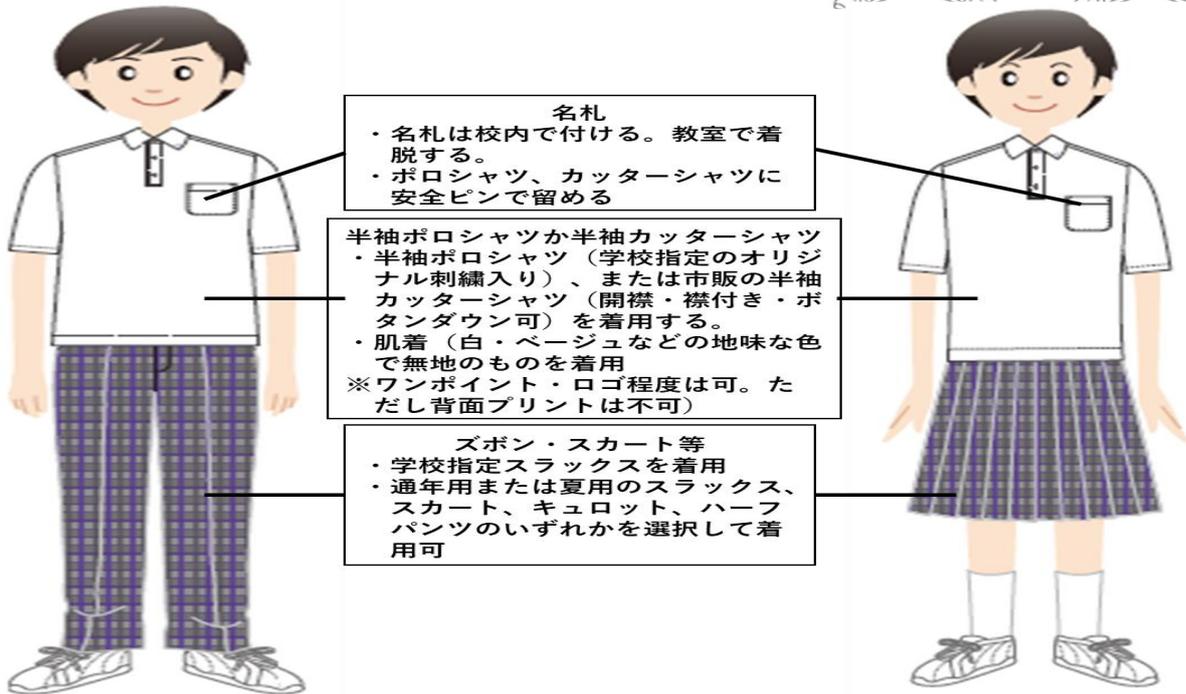
②夏 服

- 半袖ポロシャツ（学校指定オリジナル刺しゅう入り）、または市販のカッターシャツ（色は白、開襟・襟付き・ボタンダウン可）を着用する。

※ポロシャツの場合はズボンに入れなくてよい。カッターシャツの場合はズボンに入れる。

- 通年用のスラックス（スラックスⅠ型・Ⅱ型）、通年用スカート、通年用キュロットのいずれかを選択する。

- 夏用スラックス（Ⅰ型またはⅡ型）、夏用スカート、夏用キュロットスカート、ハーフパンツは好みで選択、着用してもよい。
（右図参照）



※始・終業式など改まった行事の日は、ポロシャツまたはカッターシャツとスラックス、スカート、キュ

上記の内容を共通認識して正しい服装、頭髪を確認させ、徹底させる。登校時に不備があった場合には、必ずその場で直させる。その他通学用かばんは、持ち運びやすく教室内のロッカーに入るカバン（リュック、ナップザック、トートバック等 ※色や柄は不問）、学習用具が少ない日は、手提げ袋やトートバック可。ただしビニル袋・紙袋は不可。

(6) ルールを守らせる

- ・不要物を持ってこさせない。

（プリクラ・携帯電話・i P o dなどの音楽機器ゲーム機・マンガ・お菓子・ジュース等）

※見つけたらその場で没収し、原則として保護者に直接返すようにする。

- ・校舎内では決められた使用階段を使わせるようにし、生活範囲を守らせる。
- ・他クラスへは入らせない。
- ・登下校時は、決められた通学路を通るようにさせ、私有地に入ることのないようにさせる。

(7) 授業を大切に作る姿勢を守らせる

- ・放課中に次の授業の準備をさせる。
- ・チャイム着席、放課中の移動を徹底させる。

※始業前には教室に入り、着席した状態でチャイムを待たせる。

→ チャイムで「起立」と号令をかけられる状態にする。

- ・授業開始と終了時には静かにさせ、けじめを付けさせる。
- ・きちんとした身だしなみ、姿勢で授業に臨ませる。
- ・忘れ物をさせない。（教科係に持ち物の確認・連絡を確実に行わせる。）
- ・教師は、始業前には授業教室の前にいるようにし、始業前には生徒が教室に入るよう声掛けをする。
- ・トイレは放課中に行くよう指導する。

※どうしてもがまんできず授業中にトイレに行きたいと申し出た生徒がいた場合は、次からは必ず放課中に行くことを約束させた上で行かせる。申し出た生徒が複数いた場合は、必ず一人ずつ行かせるようにする。

(8) 昼食の過ごし方やマナーを守らせる

- ・チャイムが鳴るまでは食べ終わっても席を立たせない。
（牛乳びんも最後に返却させる）
- ・ 昼食を忘れたら、必ず朝のうちに担任に申し出るようにさせる。
（担任からも確認する）

※忘れた生徒がいた場合、すぐに保護者に連絡し、可能であれば弁当を届けてもらう。

担任が1限授業の場合は、空きの先生で保護者へ連絡する。

(9) 校舎や身の回りの物を大切に作る姿勢を身に付けさせる

- ・清掃をきちんと行う習慣を身に付けさせる。
※会議がある日も可能な限り、清掃を行わせるようにする。担任以外の職員で関係のない生徒の追い出し、下校指導をする。
- ・机や壁やスリッパに落書きをしたり、物を壊したりしないようにさせる。
※落書きは見つけ次第、すぐに消させる。
※器物を破損した場合は、修理できる範囲で本人に直させる。
- ・スリッパや名札で遊ばせないようにする。

(10) 集団行動をきちんとする意識をもたせる

- ・体育館へは、列を崩さず静かに移動させる。（しゃべらせない）
- ・体育館に入ったら、速やかに自分のクラスの場所に並び、静かに座らせる。
- ・退場の際も、列を崩さず静かに退場させる。（しゃべらせない）

(11) 自分の役割について責任感をもたせる

- ・教科係やクラスの係、日直当番、掃除当番などにきちんと取り組ませる。
- ・きちんと役割に取り組んだ際には、生徒を褒めて達成感を味わわせる。

(12) 他者を尊重する姿勢を育てる

・他者を傷つけたり、攻撃したりする発言をさせない。

※そういう言葉が出てから叱るのではなく、日頃から他者を思いやる言動をとろうという気持ちを生徒に喚起させる場面を多くもつように心掛ける。

・係や当番の働きに感謝の気持ちをもたせ、互いに助け合って生活していると実感させる。

3 心構え

① 毅然とした態度で生徒と接し、「正しいことを教える」ことに重点をおきたい。「生徒に諭し、考えさせ、自覚を促す」という形で進めていきたい。そのためにも、間違っただけは小さなことも見逃さず、そのつど正しく教えていきたい。また、生徒が先生に注意される前に自ら気づき、考え、直すよう日頃からの言葉掛けをしていく必要がある。

② 日常の生徒の観察や会話などを通して、一人一人の生徒の長所を見つけ、励まし、褒めることを心掛ける（生徒を褒める種をまく）。生徒を一人の人間として尊重し、よいところを認めていくことで、生徒が自分に自信をもつことができ、問題行動への発展を食い止めることにもつながると考えられる。また、問題行動に走りがちな生徒に対しては特に本人の理解を深め、日頃から言葉を掛けることで、いざというときに指導ができる人間関係を築いておくようにしたい。

③ 登校時の土間、放課中のトイレ付近、昼放課の廊下に意識的に立ち、生徒の様子を観察しながら、必要な事柄の指導をする。空き時間の前の放課、空き時間の開始後5分（全ての生徒が教室に入った状態の確認）は廊下に留まり、何かあったときにすぐに対応できるようにする。

④ 初めに指導した職員に対し悪態をつき、他の職員が変わって指導した場合には、一通り指導を終えたら、初めに指導した先生の所へ連れて行き、きちんと謝罪させる。初めに指導した先生にもう一度話をしてもらおうことで、その先生との関係が悪くならないようにする。

⑤ 生徒だけでなく保護者とも良い関係をつくっておくと後々の指導がスムーズに進むことにもつながるため、日頃から家庭との連携をはかるように心掛ける。何かあったときも、生徒が悪いことをした報告だけにならないよう、その生徒のよい行いについても報告できるように、普段から生徒のよい行いを見付けられるようにしていきたい。

⑥ 問題が生じた場合、必ず管理職、教務主任、校務主任、生徒指導主事、担任、学年主任、該当学年の先生、他学年の生活係、養護教諭、SCにその内容が伝わるようにする。相談室などに入れて指導したことは、指導後に必ず「生活メモ」に記録して、問題行動の内容と指導等を学年や学校全体が把握できるようにする。
（報告→連絡→相談の徹底をはかる。）

※生活メモ場所 koumu→一般→校務分掌→生徒指導→R7生活メモ

4 指導の流れ

◎担任

学級内で解決できる、または問題性が少ない場合の指導。

担任で指導するとともに、主任、学年生活に報告。場合によっては保護者に連絡する。

◎学年生活

担任との連絡と指導の調整。学級間にまたがる、または問題性の大きな場合の指導の援助。相談後、他の担任にも連絡し、指導にあたる。（学年全体に報告）場合によっては家庭訪問をする。

◎主任

学校間・学年間の問題、または問題性が非常に大きい場合の対応にあたる。

担任、学年生活、主任で相談の上、指導の内容を決め、指導にあたる。

他学年の生活指導との連絡を密にする。場合によっては家庭訪問をする。

☆ 生徒間暴力、器物破損などは学年生活を交えて、指導していきましょう。

☆ いじめ・不登校

保護者と一緒に解決するために努力し、原因の分かるものは解決につとめ、教師の姿勢を理解してもらおう。

☆ けんか・いじめなどで相手にケガをさせた場合（病院へ行くような大きなケガの場合）は、ただちに関係者を相談室に入れるなどして指導する。その際は、担任、もしくは初期対応をした職員が指導にあたり、空きの先生で指導している先生の授業の補欠に入るなどの対処をしていただく。けがの状況によってはすぐに家庭連絡をし、保護者を呼び出すこともあり得る。

5 確認事項

(1) 動線（以下で示したものは原則の基本動線です。必要に応じて柔軟に対応を！）

3年生…南校舎、南土間、北校舎東・中央階段を使用

北館への移動教室は2F 渡り廊下、北館中央階段を使用

使用トイレは南館2Fトイレ

昼食時（ランチ受け取り・ルーム移動）は1F 渡りを使用して南校舎へ

2年生…北校舎2F、北校舎西土間、北校舎西階段を使用

南館への移動教室は2F 渡り廊下を使用し南校舎へ

使用トイレは北館2Fトイレ

1年生…北校舎3F、北校舎東土間、北校舎東階段、北校舎西階段を使用

南館への移動教室は3F 渡り廊下を使用

使用トイレは北館3Fトイレ

F・G組…南校舎1F、南校舎中央土間、使用トイレは南館1F

共通…他クラスへは入らない。ランチBOX受け渡し、ランチルームの動きは職会参照

(2) 集会での役割

- ① 点呼報告（男子議員）：学年主任
（女子議員）：各担任
- ② 集合整列、解散指示：各学年生活
- ③ 服装点検：学年職員
- ④ 巡視：学年職員

(3) 登校時、下校時の役割

- ① 登下校時の土間：学年主任
- ② 下校時の追い出し：各担任

(4) 体操服の着替えについて（原則は制服で下校させる）

- ①…授業最終時間が体操服で終わる場合、次の活動（部活動等）がある生徒に関しては、体操服 or 部服で帰りの会に参加することを認める。ただし、その後の活動がない一般生徒については、制服に着替えさせて下校させる。
- ②…2限体育、3限座学、4限技術のように、座学を挟んで授業時間体操服でいる場合は、教科担任の許可をとる。

※一人で抱え込まず、ワンフォールオールで頑張っていきましょう！
また、臨機応変に対応していきましょう。